



# 図書館だより

気仙沼向洋高校図書館  
令和3年4月23日  
第1号

向洋生のみなさん、ご入学・進級おめでとうございます！新年度が始まって2週間が経とうとしています。新しい学校・学年での生活はいかがですか？

さて、今年度も「朝の読書」が始まりましたね。1日10分、1年間でどれくらいの本を読むことができるか、目標を決めて挑戦してみてください。

## <図書館利用について>



	利用時間	貸出冊数	貸出期間
月～金	8:50～16:30	一人3冊まで	2週間

- 貸出方法…利用者カードを提示(忘れてきても借りられます！)  
司書・係が不在の時は貸出簿に記入する
- 返却方法…図書館に入ってすぐの返却トレイへ入れる
- 注意事項…①館内では携帯電話は使用できません！  
→電源OFFまたはマナーモードにしましょう  
②返却日は必ず守りましょう！  
→読み切れないときは延長手続きを！

～分からないことがあればお気軽に司書に聞いてください！～

## <図書館情報>

- 蔵書数…13,321冊(令和3年3月31日現在)
- 購読新聞…朝日新聞・毎日新聞・三陸新報・河北新報
- 購読雑誌…ダ・ヴィンチ、Newton、Number、きょうの料理ビギナーズ、ダイバー、ラズパイマガジン、トランジスタ技術

## <多読賞について>

1年間を通して図書館からたくさん本を借りて読んだ人(上位3名)には、年度末に賞品を差し上げます。何冊読めるかは是非挑戦してみてくださいね！



## 今年度の図書部の先生方を紹介します！

図書部長	溝口 将史 先生
	藤田 ゆき乃先生
	畠山 拓也 先生
学校司書	今野 真由

## ・ちよこっと自己紹介・



学校司書の今野真由です。向洋高校に勤務して3年目になります。読書はもちろん、勉強や少し息抜きに、気軽に図書館に来てくださいね。図書館でお待ちしています！



## 新入生図書館オリエンテーションを行いました！

国語総合の時間をお借りして、新入生を対象に「図書館オリエンテーション」を行いました。最初は教室で資料を用いて説明を行いました。どのクラスも真剣に話を聞いていて素晴らしかったです！

次の時間は図書館に移動し、「図書館探検」を行いました。分類番号をもとに一人ずつ違う本を探し、その後は実際に一人1冊以上好きな本を借りて、貸出の体験をしてもらいました。図書館には様々なジャンルの本があるので、ぜひたくさん利用して普段自分が読まない分野の本も手に取ってくださいね！

次回の図書館だよりでは新入生の皆さんから集まった本の感想を紹介します。お楽しみに！



裏面もご覧ください！



## 2021年 本屋大賞 結果発表！！

全国の書店員さんが選んだ「いちばん！売りたい本」を決める本屋大賞が4月14日に発表されました。

### ☆大賞☆ 「52ヘルツのクジラたち」 町田そのこ（中央公論新社）

52ヘルツのクジラとは他の鯨が聞き取れない高い周波数で鳴く世界で一頭だけのクジラ。たくさん仲間がいるのに何も届かない。そのため、世界で一番孤独だと言われている。自分の人生を家族に搾取されてきた貴瑚と、「ムシ」と呼ばれていた少年。愛を欲し裏切られてきた彼らが出会い、新たな魂の物語が生まれる。

### ～第2位～ 「お探し物は図書室まで」 青山美智子（ポプラ社）

お探し物は、本ですか？仕事ですか？人生ですか？人生に悩む人々がふとしたきっかけで訪れた小さな図書室。彼らの背中を、無愛想だけど聞き上手な司書さんが、思いもよらない本のセレクトと可愛い付録で、後押しします。

### ～第3位～ 「犬がいた季節」 伊吹有喜（双葉社）

1988年夏の終わりのある日、高校に迷い込んだ一匹の白い子犬。「コーシロー」と名付けられ以来、生徒とともに学校生活を送ってゆく。初年度に卒業していった、ある優しい少女の面影を胸に秘めながら。昭和から平成、そして令和へと続く時代を背景に、コーシローが見つめ続けた18歳の逡巡や決意を瑞々しく描く青春小説。

4位	「逆ソクラテス」	伊坂幸太郎（集英社）
5位	「自転しながら公転する」	山本文緒（新潮社）
6位	「八月の銀の雪」	伊与原新（新潮社）
7位	「滅びの前のシャングリラ」	凧良ゆう（中央公論新社）
8位	「オルタネート」	加藤シゲアキ（新潮社）
9位	「推し、燃ゆ」	宇佐見りん（河出書房新社）
10位	「この本を盗む者は」	深緑野分（KADOKAWA）

### ★★★★くよく読まれているノミネート作品★★★★

#### 「オルタネート」 加藤シゲアキ（新潮社）

高校生限定のマッチングアプリ「オルタネート」が必須となった現代。東京のとある高校を舞台に若者たちの運命が鮮やかに加速する。悩み、傷つきながら、〈私たち〉が「世界との距離をつかむまで」を描く、運命と選択の物語。

#### 「推し、燃ゆ」 宇佐見りん（河出書房新社）

推しが炎上した。ファンを殴ったらしい。逃避でも依存でもなく、推しは私の背骨だと言う主人公のあかり。日々推しを「解釈」することに心血を注いでいたが、ある日突然推しが炎上しの生活は一変する。「背骨」を失ったあかりは一体どう生きていくのか。

ノミネートされた作品は全て図書館カウンター前で展示しています。もし、読みたい本が借りられているという場合は予約ができませんので係に伝えてください。